

感染状況・医療提供体制の分析(6月16日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (6月9日時点)	現在の数値 (6月16日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	93人 (4.9人)	47人 (2.5人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり2.5人</u>と減少傾向だが、60歳以上の割合は不変。緊急事態宣言の効果もあり新規陽性者、新規陽性者における接触歴不明者は減少。緊急事態宣言は6/20に解除予定だが、宣言の効果の意味あるものにするためにも、気を緩めずワクチン接種も含め現在の感染対策を継続する必要がある。<u>感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	34人 (37%)	16人 (34%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	50人	18人	→	
		県南西部	41人	25人	→	
		高梁・新見	1人	1人	→	
		真庭	1人	0人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	38人	9人	
割合 (③/①)			41%	19%	→	
医療提供体制	④入院患者数	166人	102人	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	34%	21%	→	<p>宿泊療養者数は21人、自宅療養者は14人。入院患者数は減少傾向も、<u>新規陽性者数の減少に比べると減少は緩徐</u>。病床のひっ迫具合に関してはやっとステージIIIを脱しつつある。</p>	
	⑥重症者数	7人	4人	→		